

2. ボランティア活動推進事業の実施

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発し、参加支援を行うとともに、地域のボランティアコーディネーション機能を高めるための取組みや地域と学校が連携した福祉教育・ボランティア学習を推進する取組みも行いました。また、南海地震等の大規模災害時に備えた災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた体制づくりの支援や、1999年に作成した災害ボランティア活動支援マニュアルの改訂を行いました。

(1) ボランティア活動の啓発と参加支援

ボランティア活動の必要性や魅力を啓発するためのイベントや情報発信を行いました。

①こうちボランティアフェスティバル2007の開催

「できるかも☆出会いの中で☆新発見！」をテーマに、「こうちボランティアフェスティバル2007」を開催しました。

このフェスティバルは、ボランティア活動・市民活動の必要性や魅力を伝えるとともに、活動へのきっかけづくりを行うことを目的に、ステージプログラムのほか、多様な体験・交流・展示コーナーを実施するものです。

フェスティバルの企画・準備、当日運営については、例年同様広く公募し、10歳代から70歳代までの幅広い市民が実行委員となり、結成した実行委員会（梅本篤実行委員長／実行委員56名／8回開催）により、ワークショップ等の手法を活用しながら創り上げました。

【こうちボランティアフェスティバル2007実行委員会、社会福祉法人高知県共同募金会、財団法人高知県ふくし交流財団と共催】

【開催日時】 2007年8月19日(日) 9:30～16:00

【会場】 県立ふくし交流プラザ全館

【主な内容】

<p>メイン会場 プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーバンドコンサート ○来てみや！ステージの上で大発見 【出演者】 中力直樹氏、森香菜子氏、山崎水紀夫氏 ○アジアの子どもたちと手をつなごうコンサート（出演／キリンカンバンド） ○アトラクション 高知中央高校奇術部「ハッピークラウンズ」マジックショー、「キラリ」「てんてこ舞」によるよさこい踊り、天までとどけ、情熱の響き！（裕翔会・土佐翔太鼓）、チンドンパレード（佐川さくらチンドン隊） ○㈱高知放送エヌ・ピー・オー・高齢者支援基金デジタルテレビ贈呈式
<p>体験・啓発 相談コーナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【1F】 ピッピちゃん通り（フリーマーケット）、動物ふれ愛コーナー、いのちのボランティアコーナー、24時間テレビコーナー、献血コーナー、あなたのお悩み解決します！（ボランティア相談コーナー）、ドコモコーナー、ボランティア体験スタンプラリー、ボランティア・NPO応援ふれあいバザー、高知セカンドライフ友の会活動紹介コーナー 【2F】 パソコンでボランティア、骨髄バンクドナー登録コーナー、防災啓発・展示コーナー、さをり織体験“オリオリ”、赤い羽根共同募金コーナー

<p>体験・啓発 相談コーナー</p>	<p>〔3F〕 台所からはじまるエコボランティア、健康チェックコーナー、ミニミニ保育園+ホッと一息ふれあい喫茶店、着ぐるみコーナー、ピピちゃんイラスト展示コーナー</p> <p>〔4F〕 車イス体験コーナー、地球温暖化防止コーナー</p> <p>〔5F〕 ボラフェスで土佐の海を感じて(貝殻を使ったアクセサリー作り)、ロープ結び体験、げんき・森・盛りたく山・ワツ・輪・話!、森に感謝! ゴハンに感謝! マイ箸づくり、屋上緑化って? (地球温暖化について考える)、世界に橋を架けよう! 国際交流ボランティア、みんなで楽しく車椅子レクダンス、大学の取組み紹介、点字体験コーナー、手話体験コーナー</p>
-------------------------	---

〔参加者数〕 約1,100名

恒例こうちボランティアフェス

ことしもみんなで作くりましょう。県ボランティア・NP Oセンター(水野英志所長)は、ことしで十一回目の開催となる「こうちボランティアフェス2007」を企画、運営する実行委員を募集している。一を設け、一千三百人余りが来場した。

実行委員集まれ 県NPO センター 第一回実行委員会は二十四日午後六時半から同プラザで開く。誰でも応募可能で、当日参加も可。申し込みは同センター(088・850・9110)と毎年開催している。公募で集め、ファクス088・844・3852、メールkvc@npo.kochi.or.jp)。

開催日は八月十九日(日)から二十日(月)の二日間。会場は同プラザ。内容は、ボランティア活動の魅力や必要性を多くの人に伝えようとする。また、実行委員がテーマや企画を練り、準備から当日の運営までを担う。

2007年4月7日付 高知新聞朝刊(高知新聞社提供)

こうちボランティアフェスティバル2007

8月19日(日) 9:30~16:00

会場: 高知市朝倉町の県立ふれあいセンター

でもから・出会いのなかで・新発見!

TEL 088-850-9100



今年度も小学生ボランティアが活躍



マイはしづくりを通して“森のいのち”を学習



2007年 8月20日付 高知新聞朝刊 (高知新聞社提供)



スーパーバンドの2人を囲んでテーマソング「笑顔であくしゅ」を熱唱

このうち「さをりの広場」では、織機を使って色彩豊かな糸を一本ずつ編み込み、洋服の生地や芸術作品などをつくる「さをり織り」の制作を小学生らが体験。小学生

「さ」は「難しいけど楽しい。」「こ」は「どうやるの？」と真剣に織機に向かっていた。

同フェスティバルの運営には応募したボランティア約100人が参加。同日放送された「二十四時間テレビ愛は地球を救う」の募金コーナーも併設され、多くの家族連れでにぎわった。

(龍本雄一朗)

②こうちボランティア・NPO通信「てをつなごう」の発行

ボランティア活動やNPOの必要性や魅力を発信する通信「てをつなごう」を定期的に発行しました。

各地域で活動している方々にボランティア活動やNPOの魅力を聞く「〇〇からはじまるボランティア」や、編集スタッフなどが様々な活動を体験する「チャレンジ隊が行く!」、各地域でのNPOの取組み等を紹介する「みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと」の3つの特集のほか、ボランティア募集情報やイベントのお知らせ等も掲載しました。

なお、表紙のデザインは、毎回、高知県立伊野商業高等学校情報デザイン科の生徒の皆さんに描いていただいています。

〔発行月〕 2ヶ月に1回（偶数月）

〔発行部数〕 1回につき4,000部

〔特集記事〕

Vol.73 2007年6月号

〇〇からはじまるボランティア —矢野富久味氏（自立を支援する親たちの会（ひざしの会））—
チャレンジ隊が行く —のいち動物公園ボランティアーズ（高知県立のいち動物公園）—
みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと —U P P—潮江地区・プル缶・プロジェクト—

Vol.74 2007年8月号

〇〇からはじまるボランティア —松田 高政氏（こうちパパ楽会）—
チャレンジ隊が行く —夏のおやつ教室（高知県立牧野植物園）—
みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと —土佐清水市・海辺のユニバーサル観光地実行委員会—

Vol.75 2007年10月号

〇〇からはじまるボランティア —前田 栄子氏（特定非営利活動法人デイサービスあっぱれ）
「こうちボランティアフェスティバル2007」開催報告
みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと —吉良川町並み保存会—

Vol.76 2007年12月号

〇〇からはじまるボランティア —松本 孝氏（歴史と文化にふれる歩くみちづくり懇話会）—
チャレンジ隊が行く —鳥の巣箱作り（冒険遊び場づくり作戦会議）—
みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと —アテラーノ旭—

Vol.77 2008年2月号

〇〇からはじまるボランティア —長島 隆氏・得律子氏（木ごろろの会）—
「こうちボランティア・N P O支援基金」第2回支援金交付団体紹介
—平和資料館・草の家、高知演劇ネットワーク・演会、特定非営利活動法人黒潮実感センター—

Vol.78 2008年4月号

〇〇からはじまるボランティア —安芸 誠一氏（特定非営利活動法人Y A S U海の駅クラブ）—
チャレンジ隊が行く —いきいき百歳体操（うぐるすサクラの会）—
みんな聞いてや 今、地域でやりゆうこと —仁淀川町長者地区—



③ピッピネット[こうちボランティア・NPO情報システム]の運用

ボランティア活動やNPOに関する情報の受信・発信を行うピッピネット（こうちボランティア・NPO情報システム）の運用を行いました。

ボランティア団体やNPOの活動情報、施設等のボランティア募集情報、イベント情報等を広く受発信するとともに、ボランティア活動の仲介等コーディネーション業務にも役立てました。

なお、運用については、NPO関係者や大学関係者とともピッピネット運用委員会を設置し、情報受発信のあり方について協議しています。

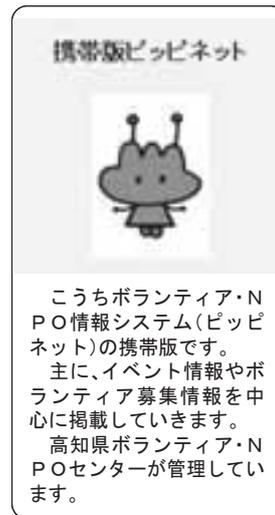
◆「パソコン版」トップ画面

(アドレス<http://www.pippikochi.or.jp>)



◆「携帯版」トップ画面

(アドレス<http://mg1.jp/u/kvnc/>)



〈QRコード画像〉

〔ピッピネットの主な登録状況/2008年3月31日現在〕

情 報 名	登 録 状 況
ボランティア団体・NPO情報	431団体
イベント情報	383事業

ピッピネット運用委員会委員名簿

(2007年度は3回開催)

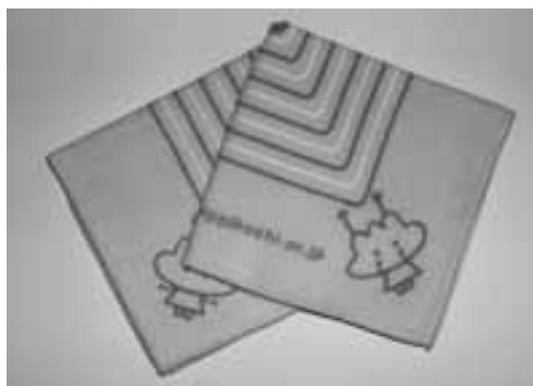
〔任期/2007年4月1日～2009年3月31日〕

	団 体 名	役 職 名	氏 名
委 員 長	高知大学	総合情報センター 准教授	佐々木 正 人
副 委 員 長	特定非営利活動法人とさはちきんねっと	事務局長	坂 本 真由美
委 員	特定非営利活動法人フリースペースビーねっと	理 事	泉 英 夫
	こうち学生ボランティアネットワーク「ボラの会」	スタッフ	奥 宮 愛 子
	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	事務局職員	又 川 日実子

④ピッピネット啓発用オリジナルグッズの販売

本センターのマスコットキャラクター「ピッピちゃん」をプリントしたオリジナルグッズ「ピッピちゃんタオルハンカチ」を販売しました。

四隅にいる異なったポーズのピッピちゃんをデザインしたもので、2007年度は、水色とオレンジ色の新色も製作しています。



⑤ボランティア募集情報サービスの提供

ボランティア募集の情報をFAX等で発信する「ボランティア募集情報サービス」の提供を行いました。ボランティア募集情報の提供を希望する方々を登録し、定期的にメールやFAX等で情報提供を行う仕組みで、高知市社会福祉協議会やNPO高知市民会議との連携により発信しています。

なお、この情報は、こうち学生ボランティアネットワーク「ボラの会」とも連携し、同会のメーリングリストにも情報発信しているほか、勤労者層に情報を届けるため、希望する企業にも情報発信をしています。

【発行回数】12回

【発信したボランティア募集情報数】74件

【情報サービス提供者数】個人117名 企業49社

⑥相談対応

ボランティア活動希望者からの相談に応じ、活動先のNPOや施設を紹介したほか、ボランティア募集方法やボランティア活動や学習のプログラムに関する相談等に対応しました。

2007年度のボランティア活動に関する主な相談は次のとおりです。

1	ボランティア活動希望に関する相談	49件
2	ボランティア活動及びボランティア学習のプログラムに関する相談	28件
3	ボランティア募集（受入）希望に関する相談	22件
4	災害ボランティア活動に関する相談	15件
5	ボランティア保険に関する相談	9件

(2) ボランティアコーディネーション機能の向上

ボランティア受入れ組織のコーディネーションに関する講座を開催したほか、地域のボランティアコーディネーション機能を高めるための支援事業を実施しました。

なお、講座の企画等に当たっては、社会福祉協議会、施設、NPO関係者で結成した「ボランティアコーディネーター研究委員会」とともに行っています。

①ボランティア受入れのための実践講座の開催

地域のボランティアコーディネーション機能を高めるため、各地域においてボランティアを受入れる施設や組織でコーディネーション業務に関わる担当者が、必要な知識と技術を学習するとともに、立場を超えて意見交換や情報交換ができる場を提供するための実践講座を2回にわたり開催しました。

【ボランティアコーディネーター研究委員会との共催】

日 時 ・ 会 場	主 な 内 容	参加者数
2007年7月12日(木) 10:00～16:30 ちばさんセンター 5F第3研修室	<p>【具体事例から学ぶボランティア受入れのポイント】</p> <p>○基調報告「組織がボランティアを受入れる意義と課題」 高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典</p> <p>○事例発表「具体事例からボランティア受入れのポイントを学ぶ」 【事例発表者】 グループホーム青い鳥 施 設 長 荻谷 貢氏 特別養護老人ホーム葉山荘 福祉支援次長 松岡 祥氏 知的障害者授産施設昭光園 支援課長 小笠原紀江氏 佐川町立佐川中学校 教 頭 近澤 玲子氏</p> <p>○質疑応答・ディスカッション 【進行】 社会福祉法人香美市社会福祉協議会 地域福祉係長 徳弘 博国氏 ハーモニーこうち 副代表 宮田 由紀氏</p> <p>○グループディスカッション 「よりよいボランティア受入れに向けて」</p>	40名
2007年11月8日(木) 10:00～16:30 ちばさんセンター 5F第3研修室	<p>【地域と共に組織・施設が育つ～ボランティア受入れを通して～】</p> <p>○事例発表 「具体事例から地域との関係づくりやボランティア受入れを学ぶ」 【事例発表者】 宅老所秦の里 所 長 神岡 栄子氏 特定非営利活動法人日高わのわ会 事務局長 安岡 千春氏 はりまや橋商店街振興組合 事務局長 山本 良喜氏</p> <p>○講 演 【地域と共に組織・施設が育つ～ボランティア受入れを通して～】 身体障害者療護施設「オイコニア」 副施設長 野村 清司氏</p> <p>○質疑応答・ディスカッション 【進行】 くぼかわボランティア連絡協議会 会 長 牧野利恵子氏 社会福祉法人香美市社会福祉協議会 地域福祉係長 徳弘 博国氏</p> <p>○グループディスカッション 「よりよいボランティア受入れに向けて」</p>	17名
2 回 開 催		57名

②地域のボランティアコーディネーション機能強化事業（助成事業）の実施

地域のボランティアを受入れる施設や組織と仲介する社会福祉協議会・ボランティアセンター等が連携を強化し、ボランティア活動の活性化を図ることを目的とした事業として、2005年度より「地域のボランティアコーディネーション機能強化事業」を実施しています。

3年目となる本年度は、中土佐町を対象に、次の内容の事業を実施しました。

【事業助成先】社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会（中土佐町ボランティアセンター）

【主な事業内容】

○町内の福祉施設、関係団体、社会福祉協議会で作る「ボランティア受入れ検討会」の開催

○地域住民対象の「なかとさボランティア募集情報誌」の発行（全戸配布）

○市内のボランティア受入れ施設、組織等の担当者を対象とした「ボランティア受入れのための勉強会」の開催

○ボランティア活動希望者を対象とした「ボランティアはじめの一步講座」の開催 など

ボランティアコーディネーター研究委員会委員名簿

（2007年度は6回開催）

〔任期／2007年4月1日～2009年3月31日〕

	団 体 名	役 職 名	氏 名
委員 長	ハーモニーこうち	副代表	宮 田 由 紀
副委員 長	社会福祉法人香美市社会福祉協議会	地域福祉係長	徳 弘 博 国
委 員	社会福祉法人高知市社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	竹 島 直 孝
	社会福祉法人須崎市社会福祉協議会	事務局次長	森 本 智 宏
	社会福祉法人土佐町社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	山 首 尚 子
		ボランティアコーディネーター	上 田 大
	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	事務局職員	松 田 祥 子
	くぼかわボランティア連絡協議会	会長	牧 野 利 恵 子
	特定非営利活動法人地域サポートの会さわやか高知	会長	片 岡 朝 美
	社会福祉法人山寿会	総括部長	細 木 智 恵
	社会福祉法人すずめ福祉会・すずめ旭天神センター	生活支援員	多 田 典 子
	高知県立青少年の家	指導員	尾 崎 寿 子
	特定医療法人仁生会 細木病院	医療ソーシャルワーカー	近 藤 真

(3) 災害ボランティア活動の支援基盤の整備

南海地震等の大規模な災害に備え、災害発生後に被災地の住民の暮らしを支えるための災害ボランティア活動の具体的な体制整備を2007年度から本格的に開始しました。

特に、今世紀前半にも確実に発生すると言われていた「南海地震」は、県内全域に甚大な被害をもたらすと想定されているため、それぞれの市町村において地元団体が自力で「災害ボランティアセンター」の設置・運営ができる体制づくりに力点を置いています。

「災害ボランティア活動支援マニュアル」の全面改訂や、市町村単位における「災害ボランティアセンター」の体制づくり支援等を行ったほか、「災害ボランティアセンター立上げのための実践講座」を県内3会場で開催しました。

なお、事業の企画等に当たっては、災害ボランティア関係者で結成した「災害ボランティアセンター等体制づくり検討委員会」ともに行っています。

①災害ボランティア活動支援マニュアル改訂版の作成

大規模な災害発生後に、県内各地で円滑に「災害ボランティアセンター」を設置・運営できるよう、1999年に作成した「災害ボランティア活動支援マニュアル」を、県下全域で甚大な被害をもたらすと予想される南海地震にも対応できるように全面的に見直しました。

今回の改訂では、これまでの災害ボランティア支援活動を通じて得られた知見やノウハウを盛りこみながら、さらには模擬訓練でマニュアル案の検証も行なうことで、より分かりやすく、より実践的に、さらには避難生活が長期となる被災地の人々に、よりきめ細やかな支援を行えるような構成にしています。

なお、マニュアルの作成に当たっては、同検討委員会内に設置した「マニュアル作成部会」を3回開催し、専門的に協議を行いました。



②市町村単位での「災害ボランティアセンター体制づくり推進事業」(助成事業)の実施

大規模な災害発生後に、被災市町村の社会福祉協議会等の地元団体が、協力関係の構築により「災害ボランティアセンター」を設置し、運営できる体制づくりを推進する「災害ボランティアセンター体制づくり推進事業」を実施しました。

初年度となる2007年度は、応募のあった3市を指定し、「災害ボランティアセンター」の設置・運営に向けた関係機関とのネットワークづくりや、立上げのルールづくり等に取り組んでいただきました。

本センタースタッフは、各市へ定期的に通い、体制づくりに必要な取組みを示すとともに、具体的な体制づくりの支援を行っています。

【事業助成先】 社会福祉法人安芸市社会福祉協議会、社会福祉法人須崎市社会福祉協議会、
社会福祉法人四万十市社会福祉協議会 以上3団体

【主な事業内容】

- 「災害ボランティアセンター」の設置・運営に関わることが想定される関係機関（ボランティア・NPO関係団体、防災関係団体、経済団体、行政など）への呼びかけ、ネットワーク形成のための検討会の開催
- 「災害ボランティアセンター」の運営における、関係機関との役割分担の検討
- 「災害ボランティアセンター」の設置に向けたルールづくり及び連絡体制の整備
- 「災害ボランティアセンター」に関する知識を習得するための講座の開催 など

③県域での「災害ボランティア活動支援本部」の設置・運営に向けた体制づくり

大規模災害発生後に、被災市町村ごとに設置される「災害ボランティアセンター」の活動を県域で後方支援する「高知県災害ボランティア活動支援本部（県域支援本部）」が円滑に設置・運営できるような事前の体制づくりを行いました。

県域支援本部の中心的な役割を担う高知県社会福祉協議会の職員行動ルールの検討を始めたほか、県域の災害ボランティア関係団体との連携をすすめるため、「こうち災害ボランティアネットワーク会議」を開催しました。

こうち災害ボランティアネットワーク会議の開催

1998年に発生した「高知豪雨」後から設置している「こうち災害ボランティアネットワーク会議」の第13・14回会議を開催し、南海地震発生後の災害ボランティア活動の支援のあり方や団体間のネットワーキングについて、協議しました。

〔開催状況〕

開催日時／会場	主 な 内 容	参加者数
2007年7月20日(金) 18:30~20:30 高知市市民活動サポートセンター大会議室	・各機関の防災や災害ボランティアに関する取組みの情報共有 ・南海地震を想定した災害ボランティア活動支援のあり方に関する意見交換 など	9団体 17名
2008年1月18日(金) 18:30~20:30 高知市市民活動サポートセンター大会議室	・各機関の防災や災害ボランティアに関する取組みの情報共有 ・「災害ボランティア活動支援マニュアル改訂版」に関する意見交換 など	11団体 18名
2 回 開 催		

こうち災害ボランティア活動支援基金の運営管理

災害時にボランティア活動を支援するための活動資金を確保することを目的に設立している「こうち災害ボランティア活動支援基金」の運営管理を行いました。

〔基金運営協議会構成団体〕

特定非営利活動法人NPO高知市民会議、災害ボランティアグループプロジェクトV、社団法人高知青年会議所、こうち生活協同組合、四万十塾、社会福祉法人高知県社会福祉協議会／高知県ボランティア・NPOセンター

〔基金額（2008年3月31現在）〕 1,774,368円

④災害ボランティアセンター立上げのための実践講座の開催

南海地震を想定し、「災害ボランティアセンター」の立上げ、運営に関する必要な知識を学ぶ実践講座を県内3会場で開催しました。

模擬訓練では、当時作成中であった「災害ボランティア活動支援マニュアル改訂版」を使用し、参加者がセンタースタッフ役、ボランティア希望者役、被災者役に分かれて、実践的なセンター運営方法を学びました。

開催日時／会場	主 な 内 容	参加者数
【西部会場】 2008年1月23日(水) 10:00~16:30 ふるさと総合センター (黒潮町)1F大ホール	○基調講演「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンター」 高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典 ○訓練説明・デモンストレーション ○模擬訓練「災害ボランティアセンターをどう運営するか!?!」 【進行】高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典 ○質疑応答・ディスカッション ○「災害用伝言板」紹介 NTTドコモ四国 高知支店	46名
【中央会場】 2008年1月29日(火) 10:00~16:30 県立ふくし交流プラザ 2F多目的ホール	○基調講演「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンター」 特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏 ○訓練説明・デモンストレーション ○模擬訓練「災害ボランティアセンターをどう運営するか!?!」 【進行】高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典 ○質疑応答・ディスカッション ○「災害用伝言板」紹介 NTTドコモ四国 高知支店	45名

<p>【東部会場】 2008年2月6日(水) 10:00~16:30 安田町文化センター 1F 多目的ホール</p>	<p>○基調講演「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンター」 特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏</p> <p>○訓練説明・デモンストレーション</p> <p>○模擬訓練「災害ボランティアセンターをどう運営するか!?!」 【助言者】特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏 【進行】高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典</p> <p>○質疑応答・ディスカッション</p> <p>○「災害用伝言板」紹介 NTTドコモ四国 高知支店</p>	<p>106名</p>
<p>3 回 開 催</p>		<p>197名</p>

災害援助ノウハウ学ぼう

23日から 県内3カ所 NPOが実践講座

南海地震など大規模災害が高知市の県立ふくし
害が発生した際に、被災 交流プラザ▽二月六日が
地住民の支援や復旧活動 安芸郡安田町の町文化セ
を進めるボランティアの ンター。

拠点となる「災害ボラン
ティアセンター」の立ち
上げや運営に必要な知識
を学ぶ実践講座が二十三
日、二十九日、二月六日
に県内三カ所で開かれ
る。県ボランティア・N
POセンターが参加者を
募集している。

被災地での活動経験が
豊富なNPO高知市民会
議の山崎水紀夫理事長ら
が、センターの役割や運
営上の注意点などについ
て講演。災害を想定し、
参加者がセンタースタッ
フやボランティア、被災
者役に分かれて行う模擬
訓練も予定している。

いずれも午前十時から
で、参加無料。二十三日
が幡多郡黒潮町のふるさと
総合センター▽二十九

申し込みは各回の五日
前までに県ボランティア
・NPOセンター(08
8・850・9100、
ファクス088・844
・3852、Eメール
yucc@pinkkochi.or.
j)。

2008年1月12日付 高知新聞朝刊（高知新聞社提供）



ボランティア活動希望者を受付



被災された方のニーズを受付

被災後の復旧どうする

ボランティア拠点 不可欠



ことし3月の地震半島は震度5強から震度6強に達した。被災した小学校に訪るボランティア（石川町黒瀬田）

全市町村で人材育成

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」

検討委スタート

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」



ボランティア活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。



ボランティア活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。

力仕事だけじゃない

メッセージ飾り付け、お茶提供...

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」

「ボランティアは組織や役員、要領からの選任が必要ではない存在ではないです。特に大規模な災害が起きたとき、ボランティアの力に頼り、被災者の生活の復旧に役立てていくことが重要だ。ボランティアを育成するだけでなく、ボランティアの活動の場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。ボランティアの活動を支援する場を確保し、ボランティアの活動を支援する必要がある。」

災害ボランティアセンター等体制づくり検討委員会委員名簿

(2007年度は7回開催)

〔任期／2007年6月1日～2009年3月31日〕

	所 属 団 体 名	役 職 名	氏 名
委員長	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	理事長	山 崎 水紀夫
副委員長	高知大学	農学部教授	大 年 邦 雄
委 員	社会福祉法人高知市社会福祉協議会	地域福祉係長	中 西 弘 行
	社会福祉法人安芸市社会福祉協議会	事務局長	安 芸 忠 幸
	日本赤十字社高知県支部	事業推進係長	柚 村 誠
	特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク	副理事長	八 木 雅 昭
	災害ボランティアグループ「プロジェクトV」	代表	橋 本 達 広
	社団法人高知青年会議所	理事長 ※2008年1月に交代	藤 澤 寿 幸 中 村 彰 宏

(4) 福祉教育・ボランティア学習の推進

地域と学校が連携した福祉教育・ボランティア学習を推進するためのモデル地域の支援を行ったほか、学習プログラムづくりに関する研修会を開催しました。

なお、これらの事業は、学校、教育委員会、社会福祉協議会、NPOなどの関係者でつくる福祉教育・ボランティア学習推進委員会とともに、事業企画や展開方法の協議、評価を行いました。

①福祉教育・ボランティア学習プログラムづくり研修会の開催

福祉教育・ボランティア学習のねらいを吟味した効果的な体験的・実践的学習のプログラムのあり方を学び、学校の「総合的な学習の時間」等の実践に活かせるプログラムを検討することを目的として「福祉教育・ボランティア学習プログラムづくり研修会」を開催しました。

この研修会は、学校教員等の教育関係者と社会福祉協議会職員等の福祉・ボランティア関係者を対象とし、連携によるプログラムづくりや実践の必要性も伝えるものとしています。

なお、開催にあたっては、高知県教育センターと共催で行いました。

【高知県教育センターと共催】

【開催日時】 2007年8月8日(水) 9:00～16:30

【会 場】 県立ふくし交流プラザ 5F研修室A

【主な内容】 ○事例発表「福祉教育・ボランティア学習の取組み」

津野町立葉山小学校 校長 矢野 晴喜氏

佐川町立尾川中学校 教頭 北山 登氏

○講演「『活かす』福祉教育・ボランティア学習プログラム」

財団法人児童健全育成推進財団 研修部・業務部 課長 阿南健太郎氏【東京】

○ワークショップ「子どもたちの生きるチカラを育むプログラムづくり」

【進 行】 高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典

【助言者】 財団法人児童健全育成推進財団 研修部・業務部 課長 阿南健太郎氏【東京】

【参加者数】 44名



立場を超えて作成した学習プログラムを発表

②福祉教育・ボランティア学習地域推進事業（助成事業）の実施

地域と学校が連携した福祉教育・ボランティア学習の取組みが行える地域の体制を形成することを目的とした「福祉教育・ボランティア学習地域推進事業」により、指定（最長3年間）したモデル地域の社会福祉協議会や学校等の実践活動を支援しました。

【指定社協・学校】

2005年度 から指定	社会福祉法人高知市社会福祉協議会	【高知市潮江地域指定】 潮江中学校、潮江小学校、潮江東小学校、潮江南小学校 以上4校
2006年度 から指定	社会福祉法人室戸市社会福祉協議会	【室戸市佐喜浜地域指定】 佐喜浜中学校、佐喜浜小学校 以上2校

【主な事業内容】

- 学校や社会福祉協議会、地域団体等による連絡会、打ち合わせ会の定期開催
- 学校と地域が連携した福祉教育・ボランティア学習の実践
- 福祉教育・ボランティア学習に関する情報誌の発行等の広報啓発
- 生徒会対象のボランティア学習の実施及び生徒会によるボランティア活動の支援

福祉教育・ボランティア学習推進委員会委員名簿

(2007年度は2回開催)

〔任期／2007年4月1日～2009年3月31日〕

	所 属 団 体 名	役 職 名	氏 名
委員長	高知市立高知商業高等学校	教頭	岡 崎 伸 二
副委員長	高知女子大学	社会福祉学部助教	太 田 こ ず え
委 員	いの町立伊野南小学校	教諭	中 野 博 文
	香美市立大柘中学校	教諭	矢 田 幸 嗣
	社会福祉法人日高村社会福祉協議会	主監	浜 永 鈴 美
	社会福祉法人南国市社会福祉協議会	事務局次長	川 竹 康 寛
	社会福祉法人津野町社会福祉協議会	福祉活動専門員	田 上 昌 代
	社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会	地域福祉課長	樋 口 益 也
	高知県教育委員会小中学校課	指導主事	寺 村 雅 子
	高知県教育委員会生涯学習課	チーフ(生涯学習企画担当)	山 下 文 一
		福祉教育推進校校長OB	岡 林 章 二
	ボランティアサークル「ルーモ」	江 崎 瑞 枝	

3. 各団体の事業への協力

①学習会等への講師派遣

各団体が主催するボランティア・NPO関係の学習会等の講師として事務局スタッフを派遣しました。

日時 / 会場	講座名〔主催団体〕	依頼テーマ
2007年4月5日(木) 高知県庁北庁舎	高知県地域支援企画員研修 〔主催／高知県企画振興部地域づくり支援課〕	NPOの活動等について（講義）
2007年4月26日(木) 高知市市民活動サポートセンター	まちづくりトークカフェ 〔主催／高知市市民活動サポートセンター〕	能登半島地震災害報告
2007年6月6日(水) 土佐町保健福祉センター	ボランティアサークルどんぐりの会総会 〔主催／ボランティアサークルどんぐりの会〕	NPO法人って何？（基調講演）
2007年6月15日(金) 高知工科大学	「まちづくり計画」授業 〔主催／高知工科大学〕	NPOとは何か（講義）
2007年6月28日(木) のいちふれあいセンター	香南市健康推進員研修会 〔主催／香南市健康対策課〕	住民活動の魅力と可能性（講義）
2007年7月7日(土) こうち勤労センター	全労災組合員災害ボランティア研修会 〔主催／全労災労働組合四国総支部〕	災害時における行動・災害ボランティアについて （講演・模擬訓練進行）
2007年7月19日(木) 高知県保健衛生総合庁舎	市町村とNPOとの意見交換会in中央 〔主催／高知県男女共同参画・NPO課〕	これからの行政とNPOとの関係 （基調スピーチ）
2007年7月24日(火) 高岡高校	高岡高校キャリア教育「ボランティア講座」 〔主催／高岡高校〕	ボランティアについて（講義）
2007年7月25日(水) 高知県安芸総合庁舎	市町村とNPOとの意見交換会in東部 〔主催／高知県男女共同参画・NPO課〕	これからの行政とNPOとの関係 （基調スピーチ）
2007年7月26日(木) 梶原町総合福祉センター	梶原竹ぼうきの会「NPO法人勉強会」 〔主催／梶原竹ぼうきの会〕	NPO法人における理事の役割ほか（講義）
2007年7月28日(土) いの町幸町集会所	いの町幸町自主防災会研修会 〔主催／いの町幸町自主防災会〕	能登半島地震は凄かった（講義）
2007年7月30日(月) 佐川町総合文化センター	福祉有償運送勉強会 〔主催／佐川町健康福祉課〕	福祉有償運送の勉強会 （意見交換の進行役）
2007年8月1日(水) 電鉄ターミナルビル	職業生活設計セミナー 〔主催／高知県雇用開発協会〕	生きがいとボランティア活動 （講義）
2007年8月3日(金) 安芸市総合社会福祉センター	福祉教育推進校研修会 〔主催／安芸市社会福祉協議会〕	福祉教育・ボランティア学習について（情報提供）
2007年8月6日(月) 高知市南部健康福祉センター	潮江地区福祉教育・ボランティア学習地域推進事業夏季研修会 〔主催／高知市社会福祉協議会〕	福祉体験学習について（講義とワークショップ進行）
2007年8月14日(火) 県立ふくし交流プラザ	人権教育セミナー「高齢者の人権」講座 〔主催／高知県教育センター〕	高齢者の人権授業で生かせるプログラム（ワークショップ・ミニトーク進行）

2007年9月19日(水) 梶原町総合福祉センター	梶原竹ぼうきの会「NPO法人勉強会」 〔主催／梶原竹ぼうきの会〕	NPO法人の設立申請書類の検討 ほか（講義）
2007年9月22日(土) 高知女子大学	高知女子大学集中講義「NPO論」 〔主催／高知女子大学文化学部〕	NPO論 （講義及びワークショップ進行）
2007年10月3日(水) 城山高校	人権教育講演会 〔主催／城山高校〕	福祉とボランティア（講演）
2007年10月16日(火) 神奈川県・横須賀市産業交流プラザ	神奈川県公設市民活動支援組織人材育成事業 〔主催／まちづくり情報センターかながわ等〕	市民の力を活かす会の運営 （講義・ワークショップ進行）
2007年10月18日(木) 全社協・瀬尾ホール	社協ボランティア・市民活動センター職員研究セミナー 〔主催／全国社会福祉協議会〕	都道府県ボランティアセンターと市町村ボランティアセンターのネットワーク（情報提供・コーディネーター）
2007年10月26日(金) 弁天座	NPO講座 〔主催／絵金蔵運営委員会〕	NPOの本質とは何か（講演）
2007年10月31日(水) 高知市市民活動サポートセンター	まちづくりトークカフェ 〔主催／高知市市民活動サポートセンター〕	新潟県中越沖地震災害報告
2007年11月1日(木) 高知東高校	地震防災に関する講演会 〔主催／高知東高校〕	災害ボランティアとは（講演）
2007年11月3日(土) 須崎市総合保健福祉センター	災害ボランティア研修会 〔主催／須崎市社会福祉協議会〕	災害ボランティア活動と災害ボランティアセンター （講義・模擬訓練進行）
2007年11月6日(火) 吉川小学校	総合的な学習の時間 〔主催／香南市立吉川小学校〕	ともに生きる-高齢者・障害のある人とともに-（講義）
2007年11月6日(火) 吉川小学校	PTA人権研修会 〔主催／香南市立吉川小学校PTA〕	高齢者と人権（講義）
2007年11月14日(水) 鏡中学校	総合的な学習の時間 〔主催／高知市立鏡中学校〕	高齢者疑似体験（体験学習進行）
2007年11月20日(火) 高知県人権啓発センター	高知県高坂学園生涯老人大学 〔主催／高知県高坂学園生涯老人大学〕	今、何故NPOが必要か？（講演）
2007年11月24日(土) 福岡県・北九州市男女共同参画センター	ふくおかNPOセミナーin北九州会場 〔主催／福岡県NPO・ボランティアセンター〕	組織力を高めるためには （講義・ワークショップ進行）
2007年11月25日(日) 福岡県NPO・ボランティアセンター	ふくおかNPOセミナーin福岡会場 〔主催／福岡県NPO・ボランティアセンター〕	組織力を高めるためには （講義・ワークショップ進行）
2007年12月4日(火) 職員能力開発センター	協働サポーター研修会 〔主催／高知県庁〕	NPOミニ講座（講義）
2007年12月5日(水) 朝倉小学校	総合的な学習の時間 〔主催／高知市立朝倉小学校〕	アイマスク体験（体験学習進行）
2007年12月13日(木) 伊野商業高等学校	総合的な学習の時間 〔主催／高知県立伊野商業高等学校〕	アイマスク体験（体験学習進行）

2007年12月14日(金) 奈半利町保健センター	災害ボランティアセンター運営研修会 〔主催／安芸広域社会福祉協議会〕	災害ボランティア活動支援マニュアルについて（情報提供）
2007年12月16日(日) こうち男女共同参画センター	市民がつくる防災フォーラム 〔主催／市民がつくる防災フォーラム〕	南海地震についてオープン討論(登壇者)
2007年12月18日(火) 高知大学	一会定例会 〔主催／一会〕	市民活動について（情報提供）
2008年1月24日(木) 日下小学校	人権参観日講演会 〔主催／日高村立日下小学校〕	高齢者と人権（講演）
2008年1月25日(金) すこやかセンター伊野	ボランティア入門講座 〔主催／いの町社会福祉協議会〕	ボランティア活動とは？ （講義とディスカッション進行）
2008年2月24日(日) 徳島大学地域創造センター	市民活動の成果を考える進歩ジウム 〔主催／徳島市市民活力開発センター等〕	転換期におけるNPOの評価とは （基調講演とアドバイザー）
2008年2月27日(水) 長崎県・出島交流会館	企業のCSR及び地域・NPOとの協働セミナー 〔主催／長崎県社会福祉協議会〕	企業・NPO資源循環システムについて（情報提供）
2008年2月27日(水) 土佐清水市社会福祉センター	ボランティア研修会 〔主催／土佐清水市社会福祉協議会〕	ボランティア受入れの意義と課題 （講義）
2008年3月11日(火) 日高村社会福祉センター	災害ボランティア講座 〔主催／日高村社会福祉協議会〕	災害ボランティアについて （講義・模擬訓練進行）
2008年3月12日(水) デイサービスあっぱれ	デイサービスあっぱれ学習会 〔主催／デイサービスあっぱれ〕	NPOについて（講義）
2008年3月24日(月) 日本赤十字社高知県支部	防災奉仕団勉強会 〔主催／赤十字防災奉仕団〕	災害ボランティアセンターについて（講義）
45学習会に派遣		

②委員会等への派遣

各団体が実施するボランティア・NPO関係の委員会へ事務局スタッフを派遣し、協力を行いました。

- ・公益信託こうちNPO地域社会づくりファンド運営委員会（主催／㈱四国銀行）
- ・公益信託高知市まちづくりファンド運営委員会（主催／㈱四国銀行）
- ・高知県社会貢献活動支援推進会議（主催／高知県文化環境部男女共同参画・NPO課）
- ・高知県南海地震条例づくり検討委員会（主催／高知県危機管理部地震・防災課）
- ・高知県再チャレンジ学習支援協議会（主催／高知県総務部業務改革推進室）
- ・こうち男女共同参画社会づくり財団運営委員会（主催／財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団）
- ・高齢者地域活動支援事業検討委員会（主催／財団法人高知県ふくし交流財団）
- ・高知県福祉基金助成金交付審査会（主催／財団法人高知県福祉基金）
- ・環境ホップ・ステップ・ジャンプ支援事業審査委員会（主催／環境活動支援センターえこらぼ）
- ・人材育成高知地域協議会（主催／雇用・能力開発機構高知センター）
- ・「青少年の意欲向上・自立支援事業」及び「公民館等におけるニート支援」高知県実行委員会
（主催／高知県教育委員会生涯学習課）
- ・こうち男女共同参画センター喫茶コーナー運營業務委託団体選定委員会
（主催／こうち男女共同参画社会づくり財団）

以上 12委員会に派遣

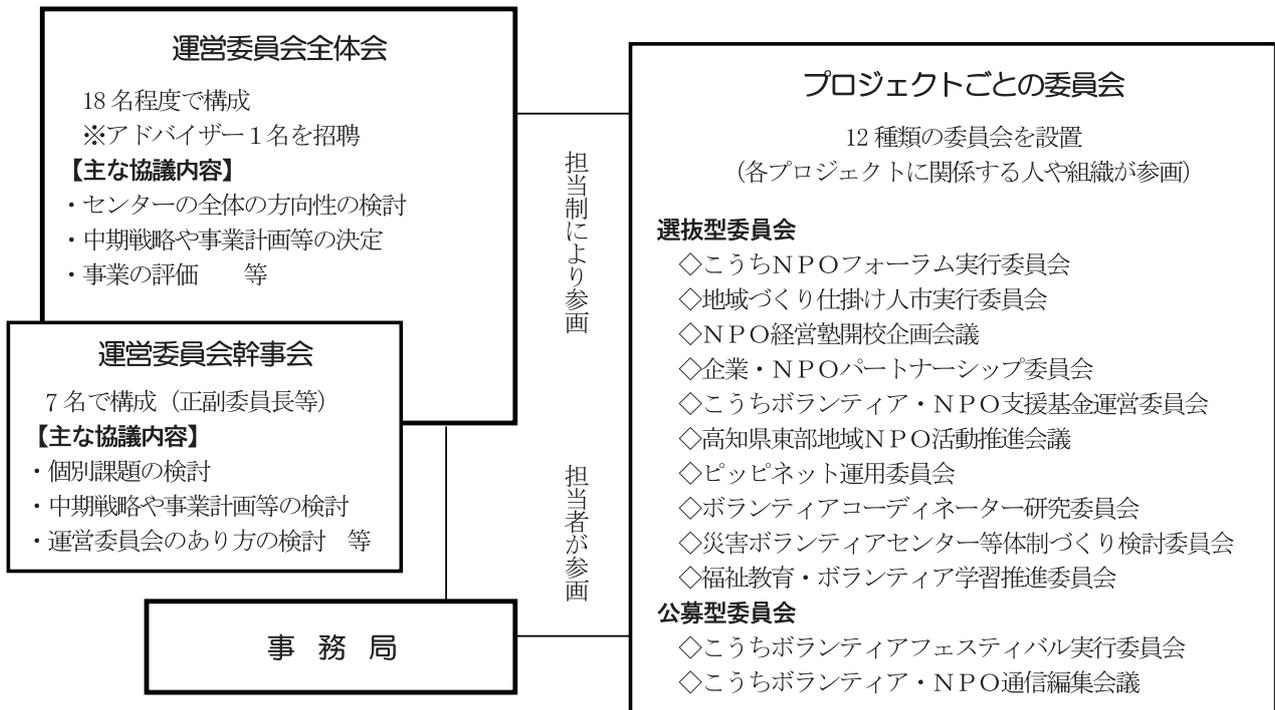
4. 運営委員会の開催

高知県ボランティア・NPOセンターの運営や具体的な事業展開等を効果的に行うため、ボランティア・NPO関係者18名の委員により構成する「運営委員会」の全体会、幹事会を通じて、定期的な協議を行いました。今年度はセンターの運営方法の見直しと、改善・工夫について検討を重ねています。

また、運営委員は、プロジェクトごとの委員会にも分担して参画いただき、各事業の企画、実施に協力をいただいています。

なお、センターのアドバイザーを、日本NPOセンターの田尻 佳史事務局長に依頼し、必要に応じ運営委員会全体会に参加いただいたほか、事業のアドバイスもいただきました。

【運営委員会の体制】



①全体会の開催

【開催状況】

日時 / 会場	主な協議内容
【第32回】 2007年5月22日(火) 18:00~20:30 高知共済会館 3F 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び情報共有 ・グループ別討議（「NPO支援事業」グループ、「ボランティア活動推進」グループ）
【第33回】 2007年10月23日(火) 18:00~20:30 高知市市民活動サポートセンター 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び意見交換 ・2008年度事業計画の方向性に関する検討

【第34回】 2008年3月13日(木) 18:00～20:30 高知市市民活動サポートセンター 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の振り返り・評価 ・2008年度事業計画及び具体的な展開の検討 ・センター運営方法の改善・工夫に向けての検討
3 回 開 催	

②幹事会の開催

〔開催状況〕

日 時 / 会 場	主 な 協 議 内 容
【第37回】 2007年6月28日(木) 18:00～20:30 高知県社会福祉センター NPO会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び意見交換 ・NPOと市町村の先駆的協働事例の創出支援事業に関する検討
【第38回】 2007年9月6日(木) 18:00～20:30 高知県社会福祉センター NPO会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び意見交換 ・NPOと市町村が協働したまちづくり推進研究会の進行チェック ・2008年度事業計画の方向性に関する検討
【第39回】 2007年11月13日(火) 18:00～20:30 高知県社会福祉センター NPO会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び意見交換 ・2008年度事業の展開方法に関する検討 ・NPO法人設立相談等支援業務の受託に関する報告及び意見交換
【第40回】 2008年2月5日(火) 18:00～20:30 高知県社会福祉センター NPO会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年度事業の進捗状況の報告及び意見交換 ・2008年度事業計画に関する検討 ・センター事業運営の評価・点検に関する検討
4 回 開 催	

高知県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員名簿

〔任期／2007年4月1日～2009年3月31日〕

	氏名	所属	役職名	担当プロジェクト委員会など
委員長★	木下くみ子	高知SGG善意通訳クラブ	役員	全体調整
副委員長★	山崎水紀夫	(特活) NPO高知市民会議	理事長	NPO高知市民会議連携調整 災害VC等体制づくり検討委員会
副委員長★	八木雅昭	(特活) 高知県西部NPO支援ネットワーク	副理事長	西部NPO支援ネットワーク連携調整 V・NPO支援基金運営委員会 災害VC等体制づくり検討委員会
副委員長★	上田健作	高知大学人文学部	教授	地域づくり仕掛け人市実行委員会 NPO経営塾開校企画会議 企業・NPOパートナーシップ委員会
★	松本孝	あきネイチャー	役員	東部地域NPO活動推進会議
	坂本真由美	(特活) とさはちきんねっと	事務局長	ピッピネット運用委員会
★	安芸誠一	(特活) YASU海の駅クラブ	事務局長	東部地域NPO活動推進会議 NPO経営塾開校企画会議
	宮田由紀	ハーモニーこうち	副代表	Vコーディネーター研究委員会
	内田洋子	(特活) NPO高知市民会議	専務理事	NPO高知市民会議連携調整
	柿本英児	(特活) れいほく活性化機構	事務局長	嶺北地域NPO連携調整
	樋口益也	(社福)しまんと町社会福祉協議会	地域福祉課長	福祉教育・V学習推進委員会
	竹島直孝	(社福) 高知市社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	Vコーディネーター研究委員会
	岡崎伸二	高知市立高知商業高等学校	教頭	福祉教育・V学習推進委員会
	松永健二	高知大学	副学長	V・NPO支援基金運営委員会
	大谷英人	高知工科大学工学部	教授	V・NPO支援基金運営委員会
★	太田こずえ	高知女子大学社会福祉学部	助教	福祉教育・V学習推進委員会
	矢野正子	高知県経営者協会	総務課長	企業・NPOパートナーシップ委員会
	沖定久	(株)高知銀行営業統括部	主任指導役	企業・NPOパートナーシップ委員会

★ 幹事

アドバイザー

〔任期／2007年4月1日～2009年3月31日〕

田尻佳史	特定非営利活動法人日本NPOセンター	事務局長
------	--------------------	------

事務局職員名簿

所長	永野英志	高知県庁より出向
所長代理	半田雅典	
主事	岡本真友美	
事務職員	岩本理香	
事務職員	北村真奈	
研修生	小野公也	2007年4月～9月 高知県教育委員会より受入れ

高知県ボランティア・NPOセンター事業レポート ～2007年度の取組み～

発行日 2008年3月31日

発 行 高知県ボランティア・NPOセンター

〒780-8567 高知市朝倉戊375-1

県立ふくし交流プラザ4F

社会福祉法人 高知県社会福祉協議会内

T E L 088-850-9100 F A X 088-844-3852

Eメール kvnc@pippikochi.or.jp

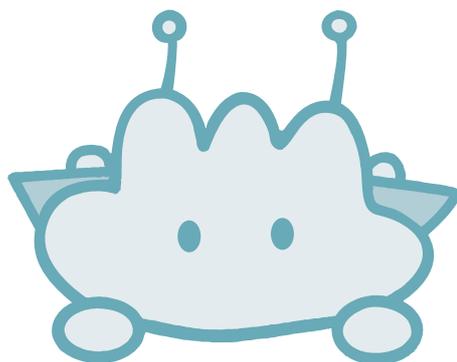
URL <http://www.pippikochi.or.jp/kennpo/>

業務時間 月曜日～金曜日 8:30～19:00

土曜日 8:30～17:00

印 刷 (有)西村瞻写堂

Non-Profit Organization Volunteer



「高知県ボランティア・NPOセンター」は
元気な社会や地域づくりに向けて
ボランティア・NPOの活動に取り組んでいる人たちを
総合的にサポートする
「高知の元気応援基地」です。

